

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病態学特論	3年次	必修	講義	2単位（60時間）	富永 一郎

授 業 概 要

最新の国家試験出題基準の内容の網羅と対策について学習する。

到 達 目 標

- ・ 国家試験合格と医療チームの重要な一員として活躍できる知識を身につける。

回	学 習 内 容	担当教員
1-5	臨床医学総論	富永 一郎
6-15	臨床病態学Ⅰ	
16-25	臨床病態学Ⅱ	
26-30	病態解析学	

学 習 方 法

- ・ 国家試験の既出題問題を中心に講義を行う。
- ・ 予習、復習で理解を深める。

評 価 方 法

- ・ 国家試験出題基準に準ずる問題200題を定期試験とし、その得点率により評価する。なお、試験科目及び出題数は次の通りとする。
臨床検査総論（検査管理総論及び寄生虫学を含む。）から20題、臨床検査医学総論（臨床医学総論及び医学概論を含む。）から10題、臨床生理学から26題、臨床化学（放射性同位元素検査技術学を含む。）から32題、病理組織細胞学から28題、臨床血液学から18題、臨床微生物学から22題、臨床免疫学から22題、公衆衛生学（関係法規を含む。）から10題、医用工学概論（情報科学概論及び検査機器総論を含む。）から12題とする。
- ・ 定期試験は3回実施し、各回の成績は総合的に（1回目20%、2回目30%、3回目50%）評価する。なお、小テストの平均点を特論単位認定試験総合成績に加味（小テスト20%、特論単位認定試験80%）する。

先 修 科 目

基礎分野並びに専門基礎分野の医療関係法規概論、看護学概論、情報科学、専門分野の病態解析学、形態検査学特論、生物化学分析検査学特論、病因生体防御検査学特論、生理機能検査学特論、チーム医療演習、検査総合管理学特論、臨地実習を除く必修科目

教科書、参考書

〔教科書〕

各科目担当教員指定の教科書及び資料を配付する。